

# 登録技能者に8社が特典

## 建設産業以外の企業も注目

今秋に技能者登録数が100万人に達する見通しの建設キャリアアップシステム（CCUS）に、建設産業以外の企業が注目している。運営主体の建設業振興基金は4日、CCUSに登録した技能者に対し、8社が特典提供の取り組みを始めると発表した。技能者だけでなく、登録事業者への特典提供の提案も寄せられており、CCUS登録によって直接的に得られるメリットが今後広がりそとだ。

日建学院を運営する建築資

料研究社は、建設関係資格受検対策講座の受講料を最大3万円割り引く。50コース以上に適用する。スキルアップと受検対策に向けたオンライン講習もCCUS登録技能者は無料で受講可能とする。TACは、建築・設備関係6資格（建築士、建築施工管理技士、電気主任技術者、電気工事士、危険物取扱者、消防設備士）の講座受講料を10%割り引くとともに、初回利用者への入会金1万円を免除する。

ECサイト「工具通販ビル

デイ」を運営するビルデイは、サイトの会員になった登録技能者に対し、工具類の購入に利用可能なポイントを年1回発行する。あいおいニッセイ同和損保は、カーリース契約時にCCUSカードを提示すること、最大15万円をキャッシュバックする。これら5社は10月から特典を提供する。

全国展開する企業だけでなく、地域の企業も取り組みを始める。ワークマンプラス松江店（松江市）は、2000

円以上の購入を条件として、CCUSカードの提示でフェイスタオルを店頭で進呈する。東京都中央区の飲食店「Bar七曲署」は、初回利用に限り、CCUSカードの提示で国産ウイスキーのハイボールを1杯サービスする。この2店舗は8月中旬に始める。このほか、MCデータプラスが特典を準備している。現時点で企業名を公表できないものの、建設業振興基金と調整中の企業が1社いる。特典提供の申し出は随時受け付ける予定だ。特典提供の内容は、8月中旬に建設業振興基金のホームページにバナー掲載するとともに、9月にも登録技能者にメールで情報提供する。建設業振興基金は「建設業を応援したいという企業がいることを技能者の方々に感じてもらえるようになれば」と話している。

